

天国への手紙

2017年12月10日放送分

お母さんへ

ラジオネームみと

人は大切な人を失ってから、その存在の大切さに気付くとよく言いますが、本当にその通りだと思いました。

私の母は、1年前にこの世を去りました。

最後に話した会話は、些細なけんかでした。

「お母さんの子どもとして生まれてこなきゃよかったよね」と

声を張り上げたときの、あの辛そうな顔は今でも焼き付いています。

あれが最後になるなんてと、毎日後悔しています。

母子家庭で、どんな時も弱音を吐いたことがないお母さんは

誰よりも強いと生きていきましたが、高校生になってから

その苦勞を身に感じるようになりました。

お弁当は作り忘れた事がなく、友達の間で「キャラ弁」が

流行った時は、いつもより早く起きて作ってくれました。

お母さん、あの時私が言ってしまった、あの一言は辛かったよね。

本当にごめんね。

私も来年、いよいよ社会人です。

色々と困難なことが待ち受けていると思いますが、
そんな時は、お母さんに弱音を吐いてもいいかな？

たくさん話を聞いてね。

今は、就職活動をがんばっていきます。風邪ひかないようにね。

リクエスト曲

へ 手紙

／

バックナンバー

く